エコアクション21

環境活動レポート

平成29年度版

平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

平成30年　5月 29日作成

株式会社　光商会

目　次

１. 組織の概要 ――――――――――――――――――――――――――――――――――　３～７

２. 対象範囲 ――――――――――――――――――――――――――――――――――　８

３. 環境方針（環境理念と環境方針）――――――――――――――――――――　９

４. 環境目標(平成30年度） ――――――――――――――――――――――――――――　１０

５. 環境活動計画（平成30年度） ――――――――――――――――――――――――――　１１

６. 環境目標の実績とその評価 ――――――――――――――――――――――――――　１２

７. 環境活動計画の取組結果とその評価 ――――――――――――――――――　１３

８. 次年度の取組 ――――――――――――――――――――――――――――――――　１４

９. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
　並びに違反、訴訟等の有無 ――――――――――――――――――――――――――　１５、１６

１０. 代表者による全体評価と見直しの結果 ――――――――――――――――――　１７

１１. その他の紹介 ――――――――――――――――――――――――――――――――　１８、１９、２０

1. 組織の概要

（1） 社名及び代表者名

株式会社 光商会

代表取締役 加藤 相哲

（2） 事業所及び所在地

NO	事業所名	所在地	主な業務内容		スタッフ
1	本　社	長野県木曽郡 木曽町新開2294番地1	総務、関連工場の統括業務 営業活動、水処理施設維持管理業務		12
2	黒川事務所	長野県木曽郡 木曽町新開4581番地1	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業務		10
3	上田プレスセンター	長野県木曽郡 木曽町新開1754番地1	一廃中間処理施設（古紙・アルミ・溶リプラ）		4
4	エコタウン第一工場	長野県木曽郡 木曽町新開9888番地1	〃	発泡スチロール ペットボトル・木くず	1
5	エコタウン第二工場	長野県木曽郡 木曽町新開9941番地1	一廃 産廃	中間処理施設（動植物性残渣）	4
6	塩尻支店	長野県塩尻市大字 宗賀字日出塩6064番地4	事務 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業務		4
7	積替保管所	長野県木曽郡 木曽町新開2359番地1	積替え保管施設（汚泥・廃油）		－

（3） 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者　　佐藤 雅幸 （専務取締役）

環境推進事務局　　岡田 拓也 （総務部）

事務局連絡先　　TEL 0264-22-2067 FAX 0264-23-2515

E-Mail　hikari_sk@ju.kiso.ne.jp

URL http://kiso-hikari.com/

（4） 事業規模

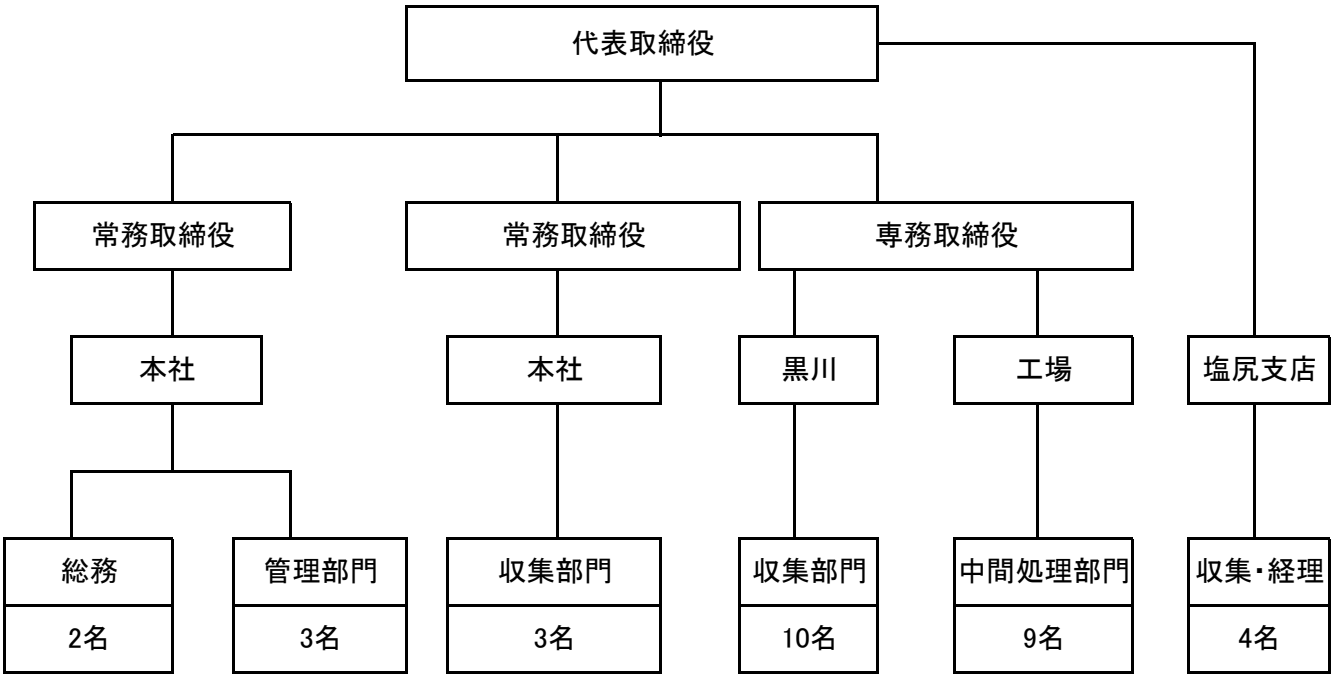
活動規模	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	百万円	309	308	330
従業員	人	35	38	35
床面積	m^3	3,655	3,655	3,655

（5）法人設立年月日

設立　平成17年4月１日 （創業　昭和33年5月１６日）

（6）資本金　　３，０００万円

（7）組織図



8） 事業内容

1. 産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬

2. リサイクル（再資源化）処理

3. 下水道・農業集落廃水処理施設維持管理

4. 浄化槽維持管理

9） 許可内容

※ 別紙 収集運搬・処分業等許可一覧表 参照

（ア）施設等の状況

運搬車両の種類と台数

パッカー車　8t　2台
パッカー車　6t　1台
パッカー車　4t　3台
パッカー車　3t　4台
パッカー車　2t　2台
フックロール　8t　2台
フックロール　3t　1台
ダンプ車　2t　5台
トラッククレーン　4t　1台
トラッククレーン　3t　1台
バキューム車　10t　3台
バキューム車　6t　1台
バキューム車　4t　1台
バキューム車　3t　3台

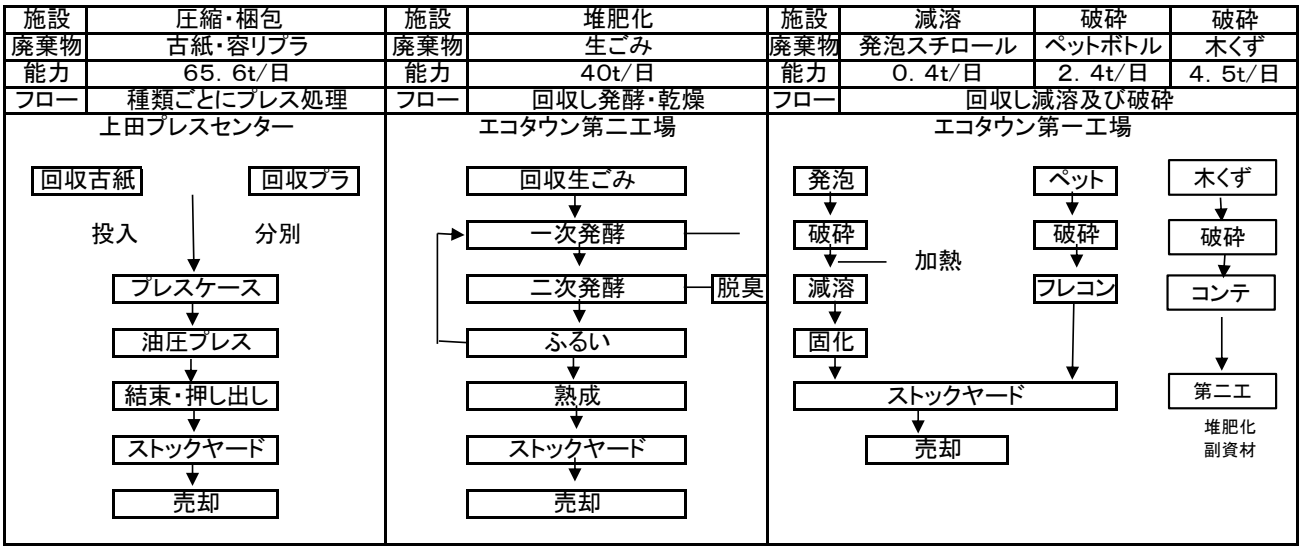
積替保管場所

所在地　長野県木曽郡木曽町新開　２３５９－９
種類　汚泥・廃油（以上いずれも特別産業廃棄物であるものを除く）
面積　295.03㎥
保管上限　汚泥16㎥　廃油3.6㎥

処理施設の種類

種　類	廃棄物	処理能力	処理方式	処理施設
圧縮・梱包施設	古紙・アルミ	65.6 t/日	油圧一方締めプレス機	上田プレスセンター
堆肥化施設	生ごみ	40 t/日	スクープ式発酵・攪拌機	エコタウン第二工場
減溶施設	廃プラ（発泡スチロール）	0.4 t/日	溶融固化減容機	エコタウン第一工場
破砕施設	廃プラ（ペットボトル）	2.4 t/日	一軸式スクリーン付破砕機	エコタウン第一工場
	木くず	4.5 t/日	ハンマードラム仕様自走式	エコタウン第一工場

処理工程図



（イ） 処理実績

一般廃棄物及び産業廃棄物の処理量

処理方法等	種類	処分方法等	一般廃棄物 t	産業廃棄物 t	
収集運搬	古紙		1,442.20	廃プラ	12.90
	金属		94.40	混合	18.85
	容リプラ		40.20	がれき類	2.70
	ペットボトル		35.10	ガラス・陶磁器くず	2.20
	発泡		5.70	タイヤ	6.76
	生ごみ		1,935.65	生ごみ	319.97
	し尿・汚泥		6,183.70	汚泥	18,745.90
	家庭系ごみ		1,467.10		
	事業系ごみ		974.10		
収集運搬量合計			12,178.15		19,109.28
中間処理	古紙	圧縮・梱包	1,442.20		
	金属	圧縮・梱包	10.00		
	ペットボトル	破砕	35.10		
	発泡	減容	5.70		
	容リプラ	圧縮・梱包	177.20		
うち再資源化等	生ごみ	堆肥化	2,241.50	生ごみ	338.50
	再資源化等量小計		2,241.50	再資源化	338.50
中間処理合計			3,911.70		338.50

（ウ）事業計画の概要

一般・産業廃棄物の収集運搬業務においては、長野県木曽北部エリアを活動の中心とし
中間処理（再資源化）業務においては、長野県中・南信地区までに事業展開する。

わたしたちは、『人と環境にやさしい』循環型社会を目指す企業です。
一般・産業廃棄物の収集・運搬から処理、水処理施設の維持管理まで、
“まかせて安心・確実”をモットーに努めます。

２．対象範囲

(1) 認証・登録範囲

① 対象事務所（全事業所）

本社、黒川事務所、上田プレスセンター、エコタウン第一、第二工場、塩尻支店、積み替え保管施設

② 対象事業活動（全事業活動）

一般廃棄物の収集運搬・中間処理（圧縮・粉砕・溶融）

産業廃棄物の収集運搬・中間処理（動植物性残渣の堆肥化）

下水道処理施設・農業集落排水処理施設・浄化槽の維持管理

(2) レポートの対象期間及び発行日

① 対象期間

平成29年4月1日から平成30年3月31日

② 発行日

平成30年5月29日

３. 環境方針

環 境 理 念

株式会社　光商会 は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理の業務を通じて、自然と調和しつつ、自主的、積極的な活動を行うことが、世界共通の重要な課題と認識し、事業活動と環境保全の調和を目指します。

また、当社活動のリサイクル製品及びサービスの品質とシステムを継続的改善し、豊かな社会の実現とかけがえのない地球環境を次世代に継承することを目指します。

環 境 方 針

1、省資源・省エネルギーを目指した事業活動の中で、環境に有益な影響を与え得るリサイクル製品の取扱、並びに地域への社会貢献とコミュニケーションを推進することによって、システムの継続的改善と汚染の予防に努めます。

(1)中間処理では、受託した動植物性残渣の堆肥化、古紙・溶リプラ・ペットボトル・発砲スチロール等の再資源化に取り組みリサイクル率の向上に努めます。

(2)収集運搬では、運行管理の向上に努めるとともに車両のエコドライブを推進し省エネと排気ガスの抑制に取り組みます。

2、環境に関する法規制及び当社が同意する協定などを遵守し、環境保全に努めます。

3、当社の事業が環境に与える影響を提言するとともに、当社を支える人々とのパートナーシップを強め、循環型社会の実現を目指します。

4、環境目標を定め、その達成に努めると共に、定期的に見直します。

5、全従業員に、本方針の周知徹底を図り，環境意識の向上に努めます。

6、本方針は社外の求めに応じて、開示します。

制定日　：　平成　18年　12月　1日

改定日　：　平成　25年　5月　30日

株式会社　光商会

代表取締役社長　　加藤相哲

４．環境目標　（平成30年度）

環境目標と実績

中期目標として２７年度を基準年度とし、1.CO2排出量 2.廃棄物排出量 3.総排水量を3年間で3%削減する。4.5.6.7については向上を目指す。
※注１、　年度は４月～３月とする。　※注２、　ｔ＝受託総量（収集運搬量＋中間処理量）　※注３、　A（向上）B（維持）　C（低下）

会社目標				２７年度	２８年度	２９年度	３０年度
1	CO2排出量	Ｋｇ-CO2／ｔ	目標	-	16.06（1%）	15.90（2%）	15.75（3%）
			実績	16.22	16.08	15.888	
2	廃棄物排出量	Ｋｇ／ｔ	目標	-	0.0212（1%）	0.0211（2%）	0.0209（3%）
			実績	0.0215	0.022	0.023	
3	総排水量	㎥／ｔ	目標	-	0.0653（1%）	0.0647（2%）	0.0641（3%）
			実績	0.066	0.076	0.0691	
4	受託廃棄物のリサイクル率向上		目標	－	A	A	A
			実績	実施	A	C	
5	コミュニケーションの推進		目標	－	A	A	A
			実績	実施	B	A	
6	グリーン購入と当社リサイクル製品の品質向上とサービスの推進		目標	－	A	A	A
			実績	実施	B	B	
7	化学物質使用の管理		目標	－	A	A	A
			実績	実施	B	B	

評価日　　年　　月　　日

＊二酸化炭素排出係数は、中部電力㈱H27実績の係数（0.486 kg-CO2/kWh）を採用

5. 環境活動計画（平成30年度）

作成日 平成３０年　３月２６日
評価日 平成　　年　　月　　日

○：計画　　○：評価　（向上：Ⓐ　維持：Ⓑ　低下：Ⓒ）

	活動目標	活動内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	担当者	評価	ランク
1	CO2排出量の削減	1)燃費向上エコドライブの推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者		
		① 車両の日常点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		② ふんわりアクセル・やさしい発進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		③ エアコンの適温・適正使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		④ アイドリングストップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		2)日常業務の管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		工場 ①電力不要時の負荷遮断	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		工場 ②処理機の連続運転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		工場 ③照明の適正化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		事務所 ①パソコン・プリンタ等の主電源オフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		事務所 ②空調の適温化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		事務所 ③照明不要時の消灯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		3)環境委員会による巡回				○				○				○	〃		
2	廃棄物排出量の削減	1)事務所等における発生抑制の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事務局		
		① 使用済用紙・封筒の再利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		② 5Rの徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		2)分別手順書の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全係長		
3	水使用量の削減	1)節水の推進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全係長		
		① 湯沸かし、洗濯時の節水強化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		② 場内の洗浄，洗車時の節水強化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃		
		2)節水手順書の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者		
4	受託廃棄物のリサイクル率向上	1)取引事業所広報活動			○			○			○			○	環境管理責任者		
		① 一般事業所への広報活動			○			○			○			○	〃		
		② 市町村担当課への広報活動	○								○				〃		
5	コミュニケーションの推進	1)見学者の受け入れ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者		
		2)地域住民への業務報告会	○								○				〃		
		3)環境安全大会(ボランティア活動参加実施)							○						〃		
6	グリーン購入と当社製品の品質向上 サービスの推進	1)エコマーク商品を優先的に購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	事務局		
		2)グリーン購入手順書の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者		
		3)本社古紙ヤードの整備と清掃		○		○		○		○		○		○	〃		
7	化学物質使用の管理	1)使用量及び保管所の適正管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	維持管理係長		
	環境マニュアルの見直し	1)EA21ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ移行のためのｼｽﾃﾑ見直し		○		○		○		○		○		○	環境管理責任者		

６．環境目標の実績とその評価

環境目標と実績

中期目標として２７年度を基準年度とし、1.CO2排出量 2.廃棄物排出量 3.総排水量を3年間で3%削減する。4.5.6.7については向上を目指す。

※注１、　年度は４月～３月とする。　※注２、　ｔ＝受託総量（収集運搬量＋中間処理量）　※注３、　A（向上）B（維持）　C（低下）

会社目標				２７年度	２８年度	２９年度	３０年度
1	CO2排出量	Ｋｇ-CO2／ｔ	目標	－	16.06（1%）	15.90（2%）	15.75（3%）
			実績	16.22	16.08	15.888	
2	廃棄物排出量	Ｋｇ／ｔ	目標	－	0.0212（1%）	0.0211（2%）	0.0209（3%）
			実績	0.0215	0.0220	0.0230	
3	総排水量	㎥／ｔ	目標	－	0.0653（1%）	0.0647（2%）	0.0641（3%）
			実績	0.066	0.0766	0.0691	
4	受託廃棄物のリサイクル率向上		目標	－	A	A	A
			実績	実施	A	C	
5	コミュニケーションの推進		目標	－	A	A	A
			実績	実施	B	A	
6	グリーン購入と当社リサイクル製品の品質向上とサービスの推進		目標	－	A	A	A
			実績	実施	B	B	
7	化学物質使用の管理		目標	－	A	A	A
			実績	実施	B	B	

評価日　30年 5月 15日

1. 平成27年度実績に対して、平成29年4月から平成30年4月までを活動実績とした。

2. 廃棄物排出量、総排水量について、目標を達成できなかった。
   ・廃棄物排出量について、活動計画の取組結果では維持できているとの評価であったが、実質数量は削減されていなかった。
   この結果を踏まえて各サイトの分別を徹底する。
   ・総排水量については、洗浄水・洗濯水を出しっぱなしにしていたこと、水道管の漏水があったことが原因と思われる。今後、各人の水使用量削減の意識を高める。漏水箇所は8月に修繕した。
3. リサイクル率向上について評価が低下した原因は、営業に伴い取引事業所への分別の必要性等の啓蒙活動ができなかった。
   環境レポートを活用し、自社の取組を紹介する活動をする。

＊二酸化炭素排出係数は、中部電力㈱H27実績の係数（0.486 kg-CO2/kWh）を採用

7. 環境活動計画の取組結果とその評価

作成日　平成 29年 4月　8日
評価日　平成 30年 4月 16日

承認	作成

○：計画　　○：評価　（向上：Ⓐ　維持：Ⓑ　低下：Ⓒ）

	活動目標	活動内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	担当者	評価	ランク
1	CO2排出量の削減	1)燃費向上エコドライブの推進	Ⓑ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	環境管理責任者	②、④について夏季の取組みが低下。収集車の発進時、変則に伴うアクセルワークが悪く引っ張っていたようだ。エアコンを切りたくないためアイドリングストップできなかった。9日に修正。 ①、③については維持できていた。	B
		① 収集運搬ルートの見直しと確認	Ⓑ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		② ふんわりアクセル	Ⓒ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		③ 過積載の禁止	Ⓑ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		④ アイドリングストップ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		2)日常業務の管理	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓑ	〃	工場において冬期(1,2月)にC評価。工場への投入時間の調整ができなかったためで、取引業者に対して協力を要請した。3月は維持できた。 事務所においては、社長指示により証明をLED化した。照度、イメージアップできた。	
		工場 ①電力不要時の負荷遮断	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓑ	〃		
		工場 ②処理機の連続運転	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓑ	〃		
		工場 ③照明の適正化	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		事務所 ①パソコン・プリンタ等の主電源オフ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		事務所 ②空調の適温化	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓒ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		事務所 ③照明不要時の消灯	Ⓑ	Ⓐ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		3)環境委員会による巡回				Ⓑ				Ⓑ				Ⓑ	〃		
2	廃棄物排出量の削減	1)事務所等における発生抑制の推進	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	事務局	①について、工夫をしているようで良い活動ができたと思う。 紙以外のプラ、ペット、空き缶の分別を徹底したい。	B
		① 使用済用紙・封筒の再利用	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		② 会議・事務手続書類の簡素化	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		2)分別手順書の実施	Ⓑ	Ⓒ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	全係長		
3	水使用量の削減	1)節水の推進	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	全係長	洗濯時にすすぎをしたまま、別の作業を行い節水できていないときがあった。洗車時にホースから水を出したまま別の作業をしていた。それぞれ注意喚起し、翌月より改善。漏水箇所の修繕を行った（8月）	B
		① 湯沸かし、洗濯時の節水	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		② 場内の洗浄, 洗車時の節水	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	〃		
		2)節水手順書の実施	Ⓑ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓐ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	環境管理責任者		
4	受託廃棄物のリサイクル率向上	1)取引事業所広報活動			Ⓑ			Ⓒ			Ⓐ			Ⓒ	環境管理責任者	各所への広報活動が停滞してしまった。 計画を見直し、積極的に行動しなければならない。	C
		① 一般事業所への広報活動			Ⓑ			Ⓒ			Ⓐ			Ⓒ	〃		
		② 市町村担当課への広報活動		Ⓐ						Ⓒ					〃		
		2)資源化施設のごみ分チェック	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	部門長		
5	コミュニケーションの推進	1)見学者の受け入れ	○	○	Ⓐ	Ⓐ	○	Ⓐ	○	○	○	○	○	○	環境管理責任者	工場見学について、依頼のあったものはすべて対応できた。 環境安全大会は有意義な活動ができた。	A
		2)地域住民への業務報告会	Ⓐ	←	○						Ⓐ				〃		
		3)環境安全大会(ボランティア活動参加実施)				Ⓐ	←	←	○						〃		
6	グリーン購入と当社製品の品質向上 サービスの推進	1)エコマーク商品を優先的に購入	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	事務局	維持できている。	B
		2)グリーン購入手順書の実施	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	環境管理責任者		
		3)本社古紙ヤードの整備と清掃		Ⓑ		Ⓐ		Ⓑ		Ⓑ		Ⓑ		Ⓑ	〃		
		4)処理施設の日常管理	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	中間処理係長		
7	化学物質使用の管理	1)使用量及び保管所の適正管理	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	Ⓑ	維持管理係長	維持できている。	B

8. 次年度の取組

作成日　平成30年 3月26日

	活 動 目 標	活 動 項 目	取 組	
1	CO2排出量の削減	1）燃費向上エコドライブの推進	①	車両の日常点検
			②	ふんわりアクセル・やさしい発進
			③	エアコンの適温・適正使用
			④	アイドリングストップ
		2）日常業務の管理	工場	①電力不要時の負荷遮断
				②処理機の連続運転
				③照明の適正化
			事務所	①パソコン・プリンタ等の主電源オフ
				②空調の適温化
				③照明不要時の消灯
		3）環境委員会	①	巡回（現地及びEMS実施状況確認）
2	廃棄物排出量の削減	1）事務所等における発生抑制の推進	①	使用済用紙の再利用
			②	5Rの推進
		2）分別手順書の実施	①	実施
3	水使用量の削減	1）節水の推進	①	湯沸かし、洗濯時の節水強化
			②	場内の洗浄、車両の洗車時の節水強化
		2）節水手順書の実施	①	実施
4	受託廃棄物のリサイクル率向上	1）取引事業所広報活動	①	一般事業所への広報活動
			②	市町村担当課への広報活動
5	コミュニケーションの推進	1）見学者の受け入れ	①	工場見学
		2）地域住民への業務報告会	①	工場見学・親睦会
		3）環境安全大会	①	実施
6	グリーン購入と当社製品の品質向上 サービスの推進	1）エコマーク商品を優先的に購入	①	エコマーク商品を最優先に購入
		2）グリーン購入手順書の実施	①	実施
		3）本社古紙ヤードの整備と清掃	①	本社古紙ヤードの整備と清掃
7	化学物質使用の管理	1）使用量及び保管所の適正管理	①	実施
	環境マニュアルの見直し	1）EA21ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ移行のためのｼｽﾃﾑ見直し	①	実施

９．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟の有無

作成日 ： 平成29年4月3日
評価日 ： 平成30年4月7日

（1）環境関連法規等取りまとめ表（遵守状況チェック結果）

法規制等の名称	該当要求事項	該当する施設	許可・届出等				点検・測定	遵守状況チェック	
			許可	届出	登録	届出先	実施時期	証拠	結果
廃棄物処理法	収集運搬業の許可	本社	○			県知事 市町村長	1回/年	許可証（一覧表）	○
	処分業の許可	本社	○			県知事 市町村長	1回/年	許可証（一覧表）	○
	収集運搬基準（表示・書面の携行）	届出車両		○		県知事	〃	現場巡回	○
	積替え保管基準	積替え保管所	○			県知事	〃	表示・保管状況	○
	契約、マニフェスト交付・保管	本社					〃	契約書、マニフェスト確認	○
	産業廃棄物収集運搬・処分実績報告			○		県知事		運搬実績・処分報告書	
騒音・振動規制法	規制基準の遵守、改善勧告、命令の遵守 特定施設は設置、変更前に届出	エコタウン 第2工場					供用時及び 必要に応じて	測定・分析結果報告書	○
悪臭防止法	供用時に測定	〃					供用時及び 1回以上/年	〃	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄物の運搬と適正処理	全サイト					廃棄時	リサイクル券	○
自動車リサイクル法	使用済自動車を引取業者へ引渡し	本社					〃	〃	○
消防法	指定可燃物・少量危険物の貯蔵と取扱い 取扱施設の構造基準厳守	上田プレスセンター エコタウン1・2工場 本社・黒川事務所		○		木曽消防長	1回/年	届出書 現場巡回	○
PCB廃棄物特別処置法	PCB廃棄保管基準厳守、保管等の届出	黒川事務所					〃	廃棄物の保管等届出書	○
	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任			○		県知事		現場巡回	
フロン排出抑制法	フロン類回収業者へ引き渡し フロン類の放出の禁止	本社 黒川事務所					廃棄時	引き渡し伝票	○
グリーン購入法	環境物品等を選択推進	本社					購入時	注文書	○

(2)　環境関連法規の違反訴訟の有無

環境委員会等において、遵守状況をチェックし、環境関連法規への違反はありませんでした。

また、同様に、関係機関、及び、近隣住民からの指摘・苦情・訴訟等は一件もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成 30年　5月　28日

（マネージメントレビュー議事録）

実施日時	平成　30年　　5月　28日（月）
出席者	社長・佐藤・岡田

見直しに必要な情報				
確認項目	管理責任者の報告			管理責任者のコメント
法規制遵守状況	平成 30年 4月 6日、7日 定期評価（環境関連法規取りまとめ表）を実施し、報告			平成29年10月1日施行 水銀使用製品廃棄物の取り扱い に注意
環境目標・活動計画の実施状況	項　　目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況表	
	Co2排出量	○	B	活動内容の見直し
	廃棄物排出量	×	B	各サイト分別の徹底
	総排水量	×	B	作業後の止水チェック・意識向上
	受託廃棄物のリサイクル率	×	C	営業活動充実
	コミュニケーションの推進	○	A	地域と会社、社員の関係継続
	グリーン購入とリサイクル製品	○	B	維持できている
	化学物質使用量の管理	○	B	維持できている
内部巡回結果	平成29年 7月 ・11月、平成30年3月 3回実施した（環境委員会議事録）			7月度の巡回時に本社水道使用量が多いことを指摘。調査し修繕した。
是正・予防処置の結果	洗浄・洗車・洗濯水の出しっぱなし 水道管腐食による漏れ			漏水については水道管修繕 使用水量削減を徹底
外部からの苦情とその処理結果	なし			なし

変更の必要性の有無・指示事項			
項　目	有無	管理責任者のコメント・提案	代表者
環境方針の変更の必要性	有	ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ移行により見直し	経営における課題とチャンスを明確にする。また、その他の要素を踏まえて、環境経営方針を策定する。
環境目標の変更の必要性	有	〃	環境経営方針に基づく目標を策定する
その他要素の変更の必要性	有	〃	環境マニュアル全般も見直し、PDCAサイクルを実行するよう移行準備を指示

11. その他の紹介

(1) コミュニケーション

ア.　工場見学受け入れ実施状況(抜粋)

見学施設	月	見学者	人数	備考
エコタウン第二	4	岡ノ平地区 住民	15	業務報告会
エコタウン第二	6	(株)オギノ 環境対策担当	1	現地確認
エコタウン第二	7	(株)ファミマリテール、(株)松本クリーンサービス	3	視察研修
エコタウン第二	9	下諏訪町 生ごみリサイクル推進委員会	17	〃
エコタウン第二	12	岡ノ平地区 住民	16	業務報告会

イ. 見学者及び周辺住民への啓発活動

① 各施設において、各種リサイクルの重要性と資源化施設の必要性を説明し、施設を安全に案内する。

② 各施設のリサイクルフロー等の説明と共に、環境保全に留意した工場であることを理解してもらう。

③ 周辺住民には、各施設では環境保全に積極的に取り組んでいることを理解してもらうため、
日常の作業と施設・工法の改修・改善を実施していること、工場周辺の植林を継続して行っていることを説明。

④ 取引事業所への広報活動では、施設の現状と適正処理を理解してもらうため、工場見学(現地確認)を
薦めている。

(2)環境安全大会

(ア) 特定外来植物駆除

・木曽町西洞地区のオオハンゴンソンを駆除。
・地区住民、役場担当職員から感謝の意を受けた。

(イ) 講演会

・演題「車両整備から観た故障事例と安全運転」

(ウ) 親睦会

・焼肉会

(3)緊急事態想定訓練

ア. 各サイトにおいて「手順書」に従い実施

イ. 火災想定訓練では、消防団員(社員)の指導のもと
初期消火訓練を行った。

ウ. 施設・車両の点検を行った。

(4)実習(研修)の受け入れ

ア. 長野県木曽青峰高等学校 生徒 2名

・長野県教育委員会では、教育活動の一環として、生徒が企業で就業体験をする「ずく出せ修行」を実施している。

・生徒2名は、委託収集(家庭系ごみ)の助手として体験した。

イ. 木曽町立木曽町中学校 生徒 2名

・ 趣旨・ねらい(抜粋)

・望ましい勤労観と職業観の育成をする。

・働くことの意義の理解、及びその関連性を把握する。

・地域にある職業、職場で働き、地域への理解を深める。

ウ. 生徒の感想(抜粋)

・町内のごみを収集し、きれいにすることの大切さ、自分の心もきれいになる

・ごみを収集することの大変さ、きれいにすることで地域の人の役に立っている

・効率の良い集め方、機械の操作を教わった。

・体力のいる大変な仕事、注意しながら1つ1つ取り組んでいる姿は輝いて見えた

・自分なりに楽しんで体験することができた。

別紙

収集運搬・処分業等許可一覧表

更新・確認日：　平成30年4月5日

一般廃棄物収集運搬業許可証

行政主体	名称	事業の範囲			自　～　至			許可番号	更新 有・無	新規	30.5 照合
		種類	区分	許可区域	許可年月日	有効年月日	期間				
木曽町	一般廃棄物 収集運搬業許可証	一般廃棄物及び有機性汚泥	収集運搬	木曽町内	平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	28木曽環第106号	○		○
上松町	一般廃棄物 収集運搬業許可証	一般廃棄物	収集運搬	上松町内	平成28年7月1日	平成30年6月30日	2年	上松町指令第28-2号	○		○
南木曽町	一般廃棄物 収集運搬業許可証	一般廃棄物及び有機性汚泥	収集運搬	南木曽町一円	平成29年11月15日	平成31年11月14日	2年	南木曽町指令29南建環第386号			○
大桑村	一般廃棄物 収集運搬業許可証	一般廃棄物及び有機性汚泥	収集運搬	大桑村内	平成30年2月1日	平成32年1月31日	2年	大桑村指令29大住第15号			○
王滝村	一般廃棄物 処理業許可証	一般廃棄物	収集運搬	王滝村内	平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	28王滝村指令第19号	○		○
木祖村	一般廃棄物 収集運搬業許可証	一般廃棄物及び有機性汚泥	収集運搬	木祖村内	平成29年12月1日	平成31年11月30日	2年	29木住第433号			○
塩尻市	一般廃棄物 処理業許可証	生ごみ	収集・運搬(積替え保管含む)	塩尻市全域	平成28年8月16日	平成30年8月16日	2年	塩尻市指令28生第1号の20	○		○
塩尻市	一般廃棄物 処理業許可証	事業系一般廃棄物 家庭系一時多量ごみ 特定家庭用機器廃棄物	収集・運搬・処理 (処理は生ごみ・資源物に限る)	塩尻市全域	平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	塩尻市指令29生第12号の3	○		○
塩尻市	一般廃棄物 処理業許可証	し尿及び浄化槽汚泥	収集・運搬	塩尻市楢川地区	平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	塩尻市指令29生第12号の4	○		○
塩尻市	一般廃棄物 処理業許可証	生活排水に係る有機性汚泥、廃食油	収集・運搬	塩尻市全域	平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	塩尻市指令29生第12号の5	○		○
塩尻市	一般廃棄物 処理業許可証	剪定木・草・落ち葉等の植物廃材限定	収集・運搬 (積替え保管含む)	塩尻市全域	平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	塩尻市指令29生第13号	○	○	○
塩尻市	浄化槽清掃業 許可証	浄化槽清掃業			平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	塩尻市指令29生第12号の6	○		○

一般廃棄物収集運搬業許可証

行政主体	名称	事業の範囲			自　～　至			許可番号	更新 有・無	新規	30.5 照合
		種類	区分	許可区域	許可年月日	有効年月日	期間				
松本市	処理業等許可証	1. 一般廃棄物収集運搬限定許可 2. 特定家庭用機器収集運搬許可	1.生ごみ等の収集運搬（積替え保管を含まない） 2.松本市外から排出される特定家庭用機器のみ	1. 松本市内 2. 松本市外	平成30年4月1日	平成32年3月31日	2年	松環業指令第148-2号			○
諏訪市	一般廃棄物処理業許可証	動植物性残渣	収集・運搬	諏訪市内	平成30年4月1日	平成32年3月31日	2年	（30） 環収運 第13号			○
岡谷市	一般廃棄物処理業等許可証	一般廃棄物収集運搬業	収集運搬		平成28年7月23日	平成30年7月22日	2年	岡谷市指令第407号	○		○
茅野市	処理業等許可証	一般廃棄物　可燃ごみ（動植物性残渣）	一般廃棄物の収集運搬業	茅野市区域内	平成30年4月1日	平成32年3月31日	2年	茅野市指令30美第1－35号			○
富士見町	一般廃棄物収集運搬業等許可証	一般廃棄物収集運搬業（ごみ）	収集運搬	富士見町内	平成30年4月1日	平成32年3月31日	2年	富建生第028号			○
伊那市	許可証	一般廃棄物（厨芥物）	収集及び運搬	伊那市内の契約箇所	平成29年4月22日	平成31年4月21日	2年	第2011001号			○
安曇野市	一般廃棄物処理業許可証(収集運搬)	ごみ（生ごみのみ）	収集運搬（積替え保管を伴わない）	安曇野市内の事業所より搬出される生ごみに限る	平成28年10月1日	平成30年9月30日	2年	安曇野市指令28廃第166号	○		○
駒ヶ根市	許可証	事業系一般廃棄物（生ごみ）	収集運搬	駒ヶ根市内	平成29年11月16日	平成31年11月15日	2年	生環～13-30			○
箕輪町	許可証	一般廃棄物	収集運搬	箕輪町内	平成29年5月30日	平成31年5月29日	2年	29住環第52号			○
南箕輪村	許可証	一般廃棄物	収集運搬	南箕輪村内	平成28年11月6日	平成30年11月5日	2年	28住第54-16号	○		○
下諏訪町	一般廃棄物処理業等許可証	一般廃棄物処理業等	収集・運搬	下諏訪町内	平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	28住掃第177-6号	○		○

一般廃棄物処分業　許可証

行政主体	名称	事業の範囲	自　～　至			許可番号	更新 有・無	新規	30.5 照合
			許可年月日	有効年月日	期間				
木曽町	一般廃棄物処分業許可証	紙くず（新聞、雑誌、ダンボール、飲料用紙製容器）、廃プラステック（発泡スチロール、トレイ、ペットボトル、プラステック製容器包装）、アルミ、繊維くず、蛍光管の一般廃棄物の中間処理。（圧縮、梱包、減熔、破砕）（特別管理一般廃棄物を除く）	平成29年4月1日	平成31年3月31日	2年	28木曽環第107号	○		○
木曽町	一般廃棄物処分業許可証	生ごみ（動物性残渣）の中間処分（堆肥化）	平成29年9月1日	平成31年8月31日	2年	29木曽環第43号			○
木曽町	一般廃棄物処分業許可証	木くずの破砕 （木材破砕機の変更　27木曽環第62号 ）	平成28年9月1日	平成30年8月31日	2年	28木曽環第65号	○		○
上松町	一般廃棄物処分業許可証	上松町内の「中部森林管理局木曽森林管理署」、「木曽南部森林組合」及び「長野県林業公社」、「関西電力㈱」の業務発注で行われる事業のうち（特別管理一般廃棄物を除く）上松町が収集運搬する範囲以外の一般廃棄物「枝条等の木くず」の破砕	平成29年8月21日	平成31年8月20日	2年	上松町指令第29-1号			○
王滝村	一般廃棄物処理業許可証	王滝村内から排出される木くず（特別管理一般廃棄物を除く）中間処分（破砕）	平成29年8月21日	平成31年8月20日	2年	29王環第6号			○
大桑村	一般廃棄物処分業許可証	大桑村内の「木曽森林管理署」、「南部森林組合」及び「長野県林業公社」の業務発注で行われる事業のうち（特別管理一般廃棄物を除く）大桑村が収集運搬する範囲以外の一般廃棄物「枝条等の木くず」の破砕	平成29年9月1日	平成31年8月31日	2年	大桑村指令大29住第5号			○

一般廃棄物処分業　許可証

行政主体	名称	事業の範囲	自　～　至			許可番号	更新	新規	30.5
			許可年月日	有効年月日	期間		有・無		照合
南木曽町	一般廃棄物 処分業許可証	南木曽町内の「木曽森林管理署南木曽支署」、「南木曽森林組合」及び「長野県林業公社」の業務発注で行われる事業のうち（特別管理一般廃棄物を除く）南木曾町が収集運搬する範囲以外の一般廃棄物「枝条等の木くず」の破砕	平成29年8月13日	平成31年8月12日	2年	南木曽町指令29南建環第223号			○
木祖村	一般廃棄物 処分業許可証	木祖村内の森林管理署、森林組合、水資源機構味噌川ダムが出す木くずの処分（破砕）	平成29年8月19日	平成31年8月18日	2年	29木住第283号			○

産業廃棄物収集運搬/処分　許可証

行政主体	名称	事業の範囲		自　～　至			許可番号	更新 有・無	新規	30.5 照合
		積替保管を含む	積替保管を除く	許可年月日	有効年月日	期間				
長野県	産業廃棄物 収集運搬業許可証	汚泥・廃油	燃え殻・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・繊維くず・動植物性残渣・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・鉱さい・がれき類・家畜のふん尿・家畜の死体・ばいじん	平成28年10月18日	平成33年10月17日	5年	許可番号 2014080 841			○
山梨県	産業廃棄物 収集運搬業許可証	無	動植物性残渣 以上1種類	平成26年8月19日	平成31年8月18日	5年	許可番号 0190008 0841			○

行政庁	名称	事業の範囲	事業の用に供するすべての施設	許可の条件	自　～　至			許可番号	更新 有・無	新規	30.5 照合
					許可年月日	有効年月日	年数				
長野県	産業廃棄物 処分業許可証	中間処理（堆肥化） 堆肥化する産業廃棄物　動植物性残渣　　※特別管理産業廃棄物を除く	堆肥化施設（前処理施設として脱水施設を含む） 処理能力　40t/日	悪臭防止法 臭気指数11以下とする	平成26年2月6日	平成31年2月5日	5年	許可番号 2024080 841	○		○

一般廃棄物処理施設設置/積替保管

行政主体	名称	施設の種類及び処理する一般廃棄物の種類	処理能力	許可(変更)年月日	許可番号			30.5 照合
長野県	一般廃棄物処理施設設置許可証	ごみ処理施設 (堆肥化施設) 生ごみ	40t/日	平成19年2月1日	第06ー06201号			○
長野県	一般廃棄物処理施設設置許可証	ごみ処理施設 (圧縮梱包施設) 古紙・紙製容器包装	65.6t/日	平成15年5月29日	第03ー08401号			更新
長野県	一般廃棄物処理施設設置許可証	ごみ処理施設 (圧縮梱包施設) 古紙・紙製容器包装・廃プラスチック・アルミ缶・ペットボトル	65.6t/日	平成18年8月9日	第03ー08401号			○

行政庁	名称	一般廃棄物の種類	保管上限	許可年月日	許可番号			30.5 照合
木曽町	一般廃棄物積替保管場所許可証	廃プラスチック(動植物性残渣により出た廃棄部) 木くず(動植物残渣の水分調整剤)	廃プラスチック 3.0t 木くず 4.5t	平成21年12月3日	第06ー06201号			不明

その他　許可証

行政主体	名称	事業の範囲	自　～　至			番号	更新	新規	30.5
			自　年月日	有効期限	期間		有・無		照合
長野県	浄化槽保守点検業者登録簿	営業区域の市町村の名称 木曽町、木祖村、王滝村、塩尻市	平成25年6月8日	平成30年6月7日	5年	長野県知事登録25第089901号	○		○
木曽地方事務所長	堆肥販売業の証（本社,エコタウン第2工場,黒川事務所）		平成19年10月31日			第07-48,49,50号（D）			○
上伊那地方事務所長	堆肥販売業の証（伊那支店）		平成26年11月19日			第05ー186号（D）			○
長野県	建築物飲料水貯水槽清掃業登録		平成27年11月9日	平成33年11月8日	6年	長野県27貯第228号			○
長野県公安委員会	古物商許可証		平成12年8月9日			第481300000004号			○
持続性推進機構	エコアクション21		平成29年10月10日	平成31年10月9日	2年	0001922			○
国土交通省	下水道処理施設維持管理業者登録		平成26年10月21日	平成31年10月20日	5年	(3)処26-549			○

行政主体	名称	事業の範囲			自　～　至			許可番号	更新	新規	30.5
		種類	使用料	許可区域	許可年月日	有効年月日	期間		有・無	○	照合
松塩地区広域施設組合	松本クリーンセンター搬入許可証	一般廃棄物　ごみ	10kg/150円	塩尻市内	平成30年4月1日	平成31年3月31日	2年	松塩地区広域施設組合指令第49号	○		○
松塩地区広域施設組合	松本クリーンセンター搬入許可証	一般廃棄物　ごみ	免除	塩尻市内委託	平成30年4月1日	平成31年3月31日	1年	松塩地区広域施設組合指令第48号	○		○
木曽広域連合	環境センター使用許可証	申請書記載のとおり	申請書記載のとおり	申請書記載のとおり	平成30年4月1日	平成31年3月31日	1年	木広環セ第5号	○		○
木曽広域連合	汚泥集約センター使用許可証	申請書記載のとおり	申請書記載のとおり	申請書記載のとおり	平成30年4月1日	平成31年3月31日	1年	木広環セ第6号	○		○